

平成31年2月

社会福祉法人梨雲福祉会
特別養護老人ホーム梨雲苑
特別養護老人ホーム 梨雲苑ゆうゆう

梨の風通信



H31.1月初茶会

ごあいさつ



理事長 林 一枝

年が変わり、亥年、平成最後の年になった。年末より口に亥と書く咳で拡散するインフルエンザが猛威をふるっている。天候の変化、乾燥が強いためか勢いは衰える気配はない。日本の気候も気象予報士泣かせな天候が続く。昨年災害の多い年になった。そして今年も天皇陛下が退位され年号が変わる節目となる。安倍総理大臣は先日の施政方針演説で、平成のその次の時代と連呼され、未来への期待を強く述べられたが、さてどのような時代がやってくるのであろうか。

加速してくる少子高齢化、それに伴う地域社会の脆弱化など社会構造が変化してきており、私たちの生活も否応なく変化を促されている。また、今後も自然災害が頻発することは予想され、立山があるおかげで富山は災害が少なく安心だね、とどこか簡単に受け止めていたこの富山県も、昨今の気候を見ていくと何か起こるかもしれないという大規模災害への整備をしていく必要がある。社会福祉法人の透明性をと言われ始めて久しいが、中央と地域との温度差がなかなか埋められない現状で、私たちは社会福祉法人として福祉の場で専門性を発揮していくのは勿論のこと、地域住民に最も近く身近な問題を拾い上げていく専門機関としての役割も一層発揮していく必要がある。日本としても節目の年になるが、私も理事長に就任し十年目の節目となる。外科医の姉ちゃんだった私が、試行錯誤しながら皆さんの力をお借りしてあつという間に十年が過ぎた。いのしし年、猪突猛進と言いたいところだが、法人は木に亥と書く地域の「核」となれるよう、また法人内の個々の成長を促せるような年にならなければならない。洪自誠の葉根譚の中に、「伏すこと久しきものは、飛ぶこと必ず高く、開くこと先なるものは、謝すること独り早し」とある。焦らずとも深く膝を屈すれば高く跳躍できる。この節目に初心に返り、一人一人の職員の成長と共に梨雲福祉会も成長して行きたい。今回から私の写真が変わった。そろそろ変えたほうが良いのでは、という正直なご意見に抗えなくなった。来年はねずみ年、年女になる。我が子には母の年齢は伏せてあるのでご内密に。

いきいきラボ 好評です！

四月からはじめた健康増進トレーニング「いきいきラボ」、週二回からの開催も三ヶ月で週四回、週五回と増やし、現在は一日二回に分けて十二人の皆様にご利用頂いています。

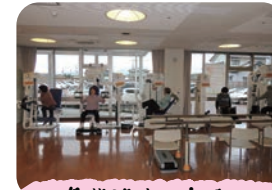
トレーニングの効果を見るため、三ヶ月毎の体力測定を任意で行っています。指標と見比べて変化の確認とともに体が軽くなった等の効果を実感されています。



準備運動から汗



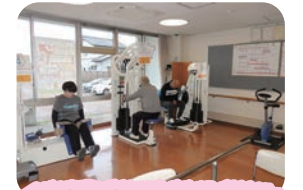
指導員からアドバイス



負荷設定も自分で



みんな頑張っています



なかなかきつーい

●●●ご利用のお問合せは 梨雲苑Tel.436-2002 深野まで

呉羽丘陵清掃

三十年十月七日(日)地域貢献活動として「呉羽丘陵をきれいにする日」に参加しました。台風前日でしたが、晴れ間に恵まれてすがすがしい朝のひと時でした。地元自治会や長寿会の皆様と一緒に十五人の職員が参加しゴミを拾い集めながら交流を深めました。



開始!



朝7時、清掃活動の開始です!



皆で集めたゴミは市役所の方に渡しました



終了!

8時終了、とても暑くなりました



車道や歩道の溜のゴミを集めます!

発行所

社会福祉法人梨雲福祉会
特別養護老人ホーム梨雲苑
特別養護老人ホーム 梨雲苑ゆうゆう

発行人

理事長 林 一枝

〒930-0142富山市吉作1725
TEL (076) 436-2002
FAX (076) 436-2165
E-mail: riun1725@ybb.ne.jp
URL: http://www.riunen.com

チャリティバザーと 災害義援募金

当法人の施設に募金箱を設置しています。多くの皆様にいただいた募金に夏祭りのバザー売り上げ金をあわせて

42,200円

全国老人福祉施設協議会を通じて
共同募金に送金させて頂きました。
引き続き皆様の募金をお願い申し上げます。



編集後記

暖冬が予想された今季の冬、ありがたいことに富山県は天気予報もよく当たり日々過ごしやすいつ冬を感じています。お正月を境に「平成最後の…」と言うフレーズをよく耳にします。一昔前なら口にもしなかった改元を指す言葉が日常的に見聞きするのも、時代の流れでしょうか。

平成最後の「梨の風通信」施設の行事や法人の活動に地域の皆様の理解や参加が頂ければとの思いで編集しました。我が事・丸ごと、これからもお互いが支え合って笑顔あふれる地域づくりになればいいなあ。

地域かがやきアドバイザー

優勝は山本長寿会さま♪

来場100名を超える皆さん

梨雲苑カラオケ大会

年二回のカラオケ大会も九回目を数え、参加者の皆様も慣れた様子でお楽しみ頂いています。年々、工夫を凝らして会場演出に努めています。参加者の歌唱力も高く点数もかなり拮抗しているため、表彰は点数以外でも評価させて頂いております。若い職員の司会やホール係りも好評で「次回も楽しみにしている」と温かい声をかけて頂きました。

応援にも力が入ります

会場も盛り止がってます



始球式は理事長と長寿会長でナイスショット



すがすがしい快晴のもとでスッキリです



今年も下村がアツいです



30年度パークゴルフメンバー



長寿会連合会長の開会のご挨拶

第7回 呉羽地区長寿会連合会 パークゴルフ大会

高齢者の皆様を取り組む健康づくりの具体的な活動として行われるパークゴルフ。年々参加人口も増えて、会場となる下村パークゴルフ場はいつも混雑しています。梨雲苑では地域貢献として活動を支援すること、職員も交流できればと一緒に参加させてもらっています。未熟で足を引っ張る職員に笑顔で優しく教えてくれる参加者の皆様に感謝しています。



慣れた手つきで畑仕事



種まきを始めます



ふろふき大根

酢の物



豊作にご満悦!

杉谷地区の農業体験会に参加しました

杉谷地区の農業体験会に梨雲苑を誘ってもらったようになって4年目となります。かぼちゃ、じゃがいも、大根と続き施設としても収穫を楽しみに活動参加を心待ちにしています。

広い畑に種まきや苗を植えていくのも、一緒に行った利用者の皆様が慣れた手つきで上手に作業をされるので若い職員は教えてもらう立場でした。そして秋には広い畑を歩き回ってたくさんの収穫に苦労もしましたが、その量と食べることの楽しみで大いに満足しました。

福祉講演会

三十年十月七日(日)梨雲福祉会では平成三十年「福祉講演会」を開催いたしました。超高齢化が社会的な問題であり、なかでも終末期をどう迎えるか、病院や施設でその人らしさを尊厳は守られるのか? いずれ迎える我が身にも降りかかる大きな不安。(参加総数二一六名)

特別養護老人ホーム常勤医師を務める石飛幸三先生が提唱する「老いと共に迎える平穏死」をテーマにご講演を頂きました。

ホーム入居者のご家族をはじめ、介護や看護の職員が看取り介護に携わる場面でのように支援していかを改めて考える良い機会となりました。また、高齢化を身近に感じている地域の長寿会や民生委員の皆様にも講演会に参加いただきました。



講師

特別養護老人ホーム・芦花ホーム常勤医

医師 石飛 幸三 先生

プロフィール

1935年 広島県生まれ。
1961年 慶應義塾大学医学部卒業。
同大学外科学教室に入局後、
1970年 ドイツのフェルディナント・ザウアーブルッフ記念病院に血管外科医として勤務。
1972年 東京都済生会中央病院勤務。
30年にわたって頸動脈内膜剥離術など血管外科の発展に寄与する一方、慶應義塾大学医学部兼任講師として血管外傷を講義。
1993年 東京都済生会中央病院副院長。
2005年 12月より現職。診療の傍ら、講演や執筆、メディアを通して、老衰末期の看取りのあり方についての啓発に尽力している。



▲施設職員も真剣に傾聴しています。



▲石飛先生の体験をもとに終末期を迎える本人、家族、支援者のそれぞれの思いを肯定的に解説し講演して頂きました。



▲入居ご家族をはじめ地域の民生委員や住民の皆様にも講演を聴いて頂きました。

家族会総会

十月七日(日)、梨雲苑ゆうゆうにて家族会総会が行われました。家族会会長の挨拶のあと、事業報告及び決算報告、来年度の事業計画と予算案等について議事が進行されました。

家族会では、入居されているご家族同士の親睦を図ることを目的とし、施設の運営や生活環境の整備にご協力を頂いています。総会の中では、「来年度は『平成』から何になるのでしょうか」等の会話もありました。引き続きのご理解、ご協力をお願いして閉会となりました。



介護予防推進リーダー 情報交換会

呉羽地域包括支援センター



富山市では、住み慣れた地域でいつまでも健康に暮らすことができるように、老人クラブで介護予防を推進する役割を担っていただく「介護予防推進リーダー」を委嘱しています。任期は二年間で、水飲み運動の啓発活動などに取り組んで頂いています。

包括支援センターでは年二回、リーダーさんとの情報交換会を開催し、活動の取り組み状況や地域の課題などについて意見交換を行っています。貴重なご意見を、今後の地域包括支援センターの活動にも活かして行きたいと思っています。



梨雲苑のお買物コーナー

介護施設をご利用される皆様の「利用のついでに買物できれば」との思いにこたえるため、百円ショップ「手のひらマルシェ」を運営しています。お菓子や保存食品が主な内容ですが、買物の楽しみもあり好評です。一方、社会福祉法人として地域とのつながりを深める地域貢献活動としても近隣農家の野菜直売コーナーを設置しています。売る方も買う方も地域の皆様で、季節の採れたて野菜をはじめ果物や漬物、お惣菜などが地元の農家やお店から日々届いています。

デイサービス利用者の皆様をはじめ面会のご家族、苑を訪問されるお客様が喜んで利用されています。



新鮮野菜

マルシェ100円コーナー

りんごや蜂蜜も

地元の皆様から「家の畑で採れた野菜、施設の皆様でどうぞ」と差し入れを頂きました。

地域から頂いた野菜や果実などは、入居者やデイサービス利用者の皆様と食事を会やクリスマス会などの行事食として使用させていただいています。ご好意ありがとうございます。

地域の贈り物



粒ぞろい柚子

大きな蕪

りっぱな葱

大粒です!

みかん

きれいな白菜

10月のさつまいも

梨雲苑 第27回夏祭り

今年で二十七回目となる梨雲苑の夏祭り。入居者の皆様がご家族と一緒に過ごす大切な行事として開催しています。毎年、お楽しみイベントとしてステージ演出を企画、今年はウクレレとバンド演奏のボランティアに来て頂きました。デイサービスを利用されている方や地域の民生委員、町内の皆様も来場され、一緒に見て、聞いて、飲食を楽しむことができました。



人気のバザー

パン販売

KOBスイングエコーズ演奏

VITAウクレレクラブ演奏

梨雲苑 クリスマス会

十二月は苑内でも大きな行事「クリスマス会」があります。入居されている皆様をはじめ、ご家族や職員も楽しみなイベントです。二階六ユニットは二十二日、一階三ユニットは二十四日の開催で、久しぶりにご家族と一緒に食事して、ボランティアの皆様の歌や演奏を楽しむ機会となりました。



1Fクリスマス会風景

トナカイ女子と乾杯

みんなでクリスマスソング

2Fクリスマスバンド演奏会

ゆうゆう 第5回夏祭り

八月二十六日(日)、梨雲苑ゆうゆう夏祭りが開催されました。ステージでは寒友会様による民謡、屋内駐車場ではバザーや屋台(焼きそば、かき氷など)が開かれ、地域の皆様にも多数来苑いただき大盛況でした。



チャリティバザーで品定め

大人気のカキ氷

寒友会の皆さん

ゆうゆう クリスマス会

十二月二十三日(日)、梨雲苑ゆうゆうホームのクリスマス会が開催されました。サンタクロースによるプレゼント贈呈のほか、ビンゴゲームやコンサートで、ご家族と一緒に楽しく過ごされる入居者様の笑顔が印象的でした。



プレゼントに松里さんの笑顔

高林さんご満悦

お楽しみビンゴ

さいさい



ミニ運動会

梨雲苑



クリスマス食事会

デイサービスセンター

ゆうゆう



頼成の森紅葉ドライブ

ホームページも是非ご覧ください!



梨雲苑

検索

<http://www.riunen.com/>

各デイサービスセンターでは月に一度、梨雲苑のホームページを更新しています。行事の様子を中心に利用者様の素敵な表情や職員の頑張りが伝わる内容となっています。是非一度、検索してみてください。

ゆうゆうガーデン

●託児所があることで、保育園の心配をすることなく安心して職場復帰ができました。職員や利用者様が子どもの顔や名前を覚えてくださり、成長と一緒に見守っていただけたことをとてもうれしく感じています。(清水)

●利用して良かったことは、息子が施設内で高齢者の皆さんと触れ合うことで、あまり人見知りしないことです。大祖母が入居している他施設に行ったときも、嫌がることなく自分から皆様に触れ合い、場を和ませていることがありました。先生たちが苑の入居者や利用者の皆様との交流機会を作っていることの賜物と感じ、子供の成長につながっていると感謝しています。(佐川)

●事業所内にある託児所なので、熱が出たときすぐに様子を見に行くことができるので、近いということは本当に助かっています。(山田)

●保育園に入れない人も多いため、育児休暇からの復帰も保育園を気にせずに行けるので良いと思います。近くで子供を見てもらえて連絡が早い安心感と、終業後のお迎えもすぐに行けるので子供も安心して帰ります。親としてもすぐに子供の顔が見られる喜びと、帰宅までの時短になって本当に助かっています。(中川)

事業所内託児所で子育て支援!

和が取れた働き方ができる社会の実現に向けて取り組みしています。



ユニットリーダー 実地研修施設

ユニットリーダー実地研修施設として二年目を迎え、今年度は県内外から三十九名の実習生を受け入れました。四日間の実地研修で実習生からは「台所から聞こえる茶碗や水道の音に生活感を感じる」「地域住民の出入りが盛んで地域に密着している」等の感想が聞かれ、ユニットケアの理念である「暮らしの継続」を実感して頂いたようでした。指導した職員達もあらためて介護職としてのやりがいを感じ、職員のベースでなく入居者個々の二十四時間に合わせた関わりが大切であると再認識することができました。

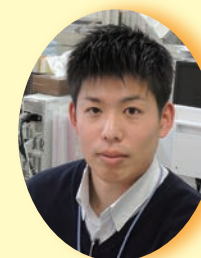
平成30年度 ユニットリーダー研修 実地研修

受講期間	富山県	石川県	福井県	新潟県	計
6/13~15	2	3	1	6	12
8/27~29	6	6	0	0	12
10/2~4	3	12	0	0	15
	11	21	1	6	39

県別受入れ人数(人)



生活相談員 紹介



梨雲苑生活相談員
庄司 文哉

生活相談員となり四年が経ちました。振り返ると、一つひとつの出来事が、私にとって何にも代えがたいものでした。これからは皆様に「ほっと」してもらえよう、それぞれの想いを繋ぐ存在でありたいと思います。



ゆうゆう生活相談員
矢後 左和子

これまで病院や老人保健施設など、一時的に滞在する施設で勤務してきました。ホームという生活の場に就き、自分らしくゆうゆうとした暮らしの実現を目指し、入居者様に寄り添った業務ができるように努めます。

厨房

元旦の昼食におせちを提供しました。日々のお食事を通して、季節感を感じて頂ければと思います。



はい、チーズ★

今年はこのようなおせちを元旦の昼食に提供しました!

3月



回転寿司

9月



敬老の日お祝い膳

寒い日が続き、風邪やインフルエンザにかかりやすい時期になりました。日常では手洗いやうがい等の予防も大切ですが、食事の面では普段から栄養バランスのとれた食事を継続的に摂ることを心がけましょう。そうすることで免疫力や抵抗力が上がり、健康を維持することができます。そこで、今回は旬の野菜を使った風邪予防レシピを紹介いたします。

体ほらかまか! 「根菜としょうがのスープ」

- 大根・・・2cm
ごぼう・・・5cm
にんじん・・・2cm
長ねぎ・・・少々
鶏むね肉・・・1/4枚
コンソメ・・・小さじ2
おろし生姜・・・小さじ2
水・・・500cc
塩こしょう・・・少々
白ゴマ・・・少々



- ①長ねぎはみじん切り、それ以外の野菜はさいの目に切る。
②鍋に水と①を入れ、野菜に火が通るまで煮る。コンソメとしょうがを加え、塩こしょうで味をととのえる。

管理栄養士